

地元企業の魅力を発見！

若い世代の地元定着と、市内企業の人材課題の解消につなげることを目的として、高校生に市内企業の魅力を紹介する「可児の企業魅力発見フェア」を、文化創造センター・アールで開催しました。地元の高校2年生を中心とした約600人と37企業が参加しました。

参加した生徒からは「企業の人に直接質問でき、就職への不安が解消された」「視野になかった業種に興味を湧いた」などの感想がありました。

動画でも企業を紹介しています！視聴はこちらから▶



2/3



2/19

環境を守るためにできること

環境フェスタを広見地区センターで開催しました。子どもから大人まで楽しみながら環境について考えられるよう、環境団体や事業所による展示・体験ブース、自然やエネルギーの不思議を学べるサイエンスショーなど、さまざまなイベントが行われました。

参加者からは「市内の川や湿地に、多くの生物がすんでいることを実感した」「広見小の児童による環境学習の発表を聞いて、環境について考えさせられた」などの感想がありました。

民間企業からの連携提案を受け付ける窓口を市役所内に設けました。ありがたいことに、世界中に知られた企業、全国的に名高い企業からのご提案もあり、若い方が可児市に住み続けたいと思うような新たな魅力づくりの取り組みが動き出します。少しご紹介しましょう。

スポンサーゲームやKYBスタジアムでの二軍戦開催で市と関わりの深い中日ドラゴンズと、野球振興やその他の分野でもさまざまな連携をすることになります。中日ドラゴンズベースボールアカデミー可児市校が開校され、KYBスタジアムでドラゴンズOBが可児市の子どもたちに直接技術を教えてくれます。

市内に複数の店舗を持つパローホルディングスからは、食品残渣ごんさを活用して再生エネルギーを生み出す事業の提案をいただいています。脱炭素社会の実現に向け、パローや

事業者、市民で取り組む体制が構築できた際には、ぜひともご協力をお願いします。

若者支援に取り組んでいるスターバックスコーヒーからは、高校生にスタバのノウハウが詰まった研修を行って、高校生と一緒に課題を抱える児童・生徒に寄り添う事業の提案をしていただきました。

そして、地域の課題解決に取り組んでいる無印良品(良品計画)からは、市の図書館機能を核とした、子どもから高齢者まで市民がくつろぎ楽しめる、健康などの相談や情報発信といった機能も併せ持つオシャレな空間づくりの提案をいただき、議論を進めています。

このように、可児市では企業と連携した魅力づくりが始まっています。市民の皆さん、一緒に「住みごころ一番・可児」の新たなステージに進んでいきましょう。



市と企業の連携による
新たな魅力づくりが始まる



可児市長 宮内 伸

